

切花収穫体験と花束作り・コサージュ作り 「地元の栽培温室で作っている花のことを学ぶ、楽しむ、贈る」

作成者：香川県東讃農業改良普及センター 花き担当 副主幹 小林弥生

- 対象者・人数：小学校5・6年生 20名 程度
- 所要時間：収穫体験と花束作り 2時間30分
コサージュ作り 1時間
- 対象場所：小学校ランチルーム、切花栽培温室、切花集荷場
- 指導者・アシスタント人数：栽培の講師（カーネーション生産者）1名
アレンジの講師1名、サポートスタッフ2名程度

■ 資材

<1部 花束作り>

- ・アルミ箔
- ・ペーパータオル
- ・セロハンなどスリーブ
(花束を包む為の筒状の専用ビニール)
- ・切花用ハサミ ・観察シート
- ・輪ゴム ・バケツ
- ・メッセージカード（ミニ絵本）

<2部 コサージュ作り>

- ・アルミ箔
- ・ペーパータオル
- ・切花用ハサミ
- ・輪ゴム
- ・霧吹き ・ダンボール（コサージュを保管する）

■ 花材

- ・カーネーション 7~10本
花生産者の温室で子供が収穫したものをを用いる
- ・ブプレウラムやリキュウソウなどの葉もの 2本程度



カーネーション



ブプレウラム

【指導内容と目的】

- ・学校区で栽培されている花について学習する。
- ・温室の中や、集荷場など実際に栽培している様子を見学し、直接生産者に聞くことによって、学習する。
- ・カーネーションの花に多様な品種があることを学び、その中から、自分の好きな花を選ぶことで喜びを感じてもらおう。花の収穫方法を学ぶ。
- ・花束の作り方やコサージュの作り方を学ぶことによって花の利活用方法を学ぶ。
- ・花束は両親に、コサージュは卒業生に送ることで、花を贈る喜びを感じてもらおう。
- ・実際に家に飾って花のある生活のよさを感じてもらおう。

【対象者への配慮】

- ・温室の中の作業もあるので、動きやすい服装、体操服や夏場は帽子や水筒を用意する。
 - ・花を切るときは切花用のハサミを用意する。
ハサミを使用する前に、必ず切り方について説明する。
- 花の紹介をするとき、その花の特長や名前の由来、産地、花の特徴などを説明する。
花を生産している方に説明いただき、疑問に答えてもらう。
カーネーションの色別の花言葉や365日誕生花の資料を取り入れ、自分の誕生花を知ることによって、興味をもってもらおう。



社団法人 日本花き生産協会 カーネーション部会
カーネーション色別花言葉資料

■ 1.指導計画・スケジュール

【第1部】カーネーション収穫体験と花束作り

2月実施（6年生対象）

- | | |
|----------------|-----|
| ①カーネーション栽培温室観察 | 15分 |
| ②カーネーション収穫体験 | 15分 |
| ③花束作り | 30分 |
| ④メッセージカード作り | 10分 |
| ⑤生産者への質問コーナー | 20分 |

（学校から温室への移動時間 30分×2）

【第2部】卒業式に贈るコサージュ作り

3月実施（5年生対象）

- | | |
|------------------|-----|
| ①コサージュ作り | 50分 |
| ②カーネーションについての説明等 | 10分 |

■ 2.事前の準備

○花生産者との打ち合わせ

どの時期に花がよく咲いているか、時間的に余裕のある月、曜日や時間などを事前に聞いておく。また花育をするにあたっての要望も聞いておく。

○学校との打ち合わせ

- ・学校の行事は4月に決定することが多いので、年度の早い時期に年間計画を決める。コサージュは卒業式に使用するので日程を把握しておく。
- ・収穫体験は花生産者の温室で実施するので、学校から温室までの距離や移動方法について相談しておく。
- ・実施場所の確認をするとともに、先生の要望も伺う。
- ・児童数の確認をする。
- ・当日の服装やスケジュールの確認をする。移動時間もかかるので、時間に余裕のあるスケジュールを組めるよう、時間割の確認をしておく。
- ・事前学習をするかどうか確認するとともに、資料の確認をする。

○事前カーネーション学習

カーネーションの事前学習資料を先生に印刷を依頼し、事前学習を行う。

（カーネーションの種類や、県内での栽培について）希望があれば、花の生産者に講師になってもらう。

○前日までに用意するもの

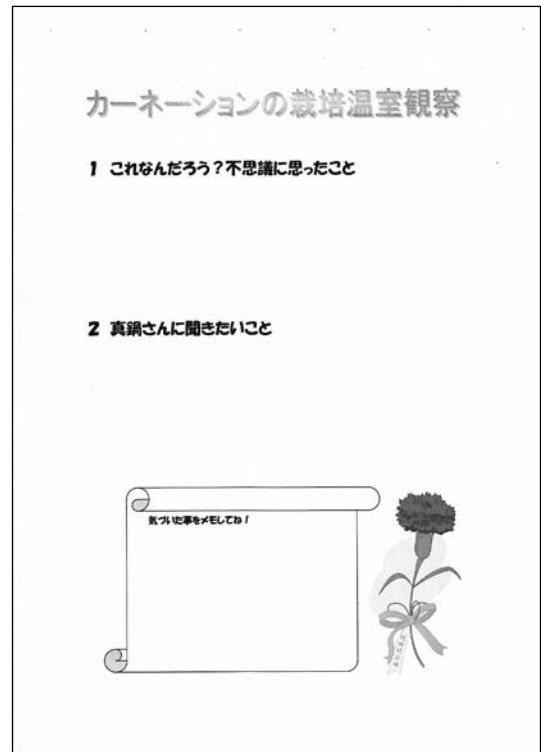
<第1部>

アルミ箔を15cm角に切る。

ペーパータオルを15cm角に切る。

観察シートをコピーする。

メッセージカード（ミニ絵本）を用意する。



観察シート

<第2部>

アルミはくを15cm角に切る

ペーパータオルを15cm角に切る。

コサージュを保管するダンボール・霧吹きを用意する。



メッセージカード（ミニ絵本）

○当日の準備

<第1部・2部共通>

- ・バケツの用意
- ・準備物を机に並べる
- ・ゴミ袋を設置
- ・荷物を置く棚を用意

その他 実施場所、児童の動線・危険物を確認する。

(温室から、集荷場、学校など移動時間も確認)

■ 3.当日の流れ

・時 間 (所要時間) :

<第1部> 2時間30分 (内移動時間1時間含む)

<第2部> 1時間

【第1部】 カーネーション収穫体験と花束作り

①学校から生産者の栽培温室に徒歩で移動開始 約30分

収穫体験は実際に花生産者の栽培温室で行う。学校から栽培温室への移動は学校の先生に依頼する。

その際の注意点として、夏場は暑いので、帽子や水筒の準備、動きやすい体操服で来るよう担任の先生に事前に依頼しておく。また、冬場は、山間地は雪が降る場合もあり、悪天候になる場合があるので、そのような際に車を利用するか、延期するかなど、事前に打合せをしておく。また冬場の移動時は防寒着を着用するようにする。



生産者の栽培温室



学校から栽培温室への移動

○栽培温室観察 15分

②花の集荷場の前で挨拶、講師の自己紹介をする。

水筒などの荷物を置いて、栽培温室に移動する。その際事前に渡しておいた観察シートをクリップボードに挟んで筆記用具持参で移動する。

③生産者が温室内でカーネーションの説明をし、ハウス内を自由に散策し、不思議に思ったことや疑問点を観察シートに記入してもらう。

(指導のポイント) どんな細かいことでもいいので、不思議に思ったこと、感じたことをできるだけ、多く記入してもらう。その際、最低5つなど目標を決めておくとよい。

生産者からの回答は最後にまとめて答えてもらう。



○カーネーション収穫体験 15分

④生徒全員を集めて、カーネーションの収穫方法を説明する。

⑤そのあとで5人から7人ずつ、生産者2人に分かれて、実際のカーネーションを近くで見ながら収穫の方法を実際に説明する。

(指導のポイント)

- ・カーネーションの場合は、ハサミを使用しないで、節で折る。折る節の下を左手で押さえて右手で花の付いた茎を持ち、横下方向に傾けながらポキッと節で折る。
- ・意外と難しいので、節を確認しながら折ること。また切花が短くなる場合が多いので、最初に花束をいれるセロハンのスリーブを見せて長さを確保するように促す。
- ・収穫した後は、花が傷まない様、丁寧に扱うよう指導する。
- ・栽培温室には数多くの品種があるので、好きな色や好きな花形を自由に収穫し、花のバリエーションを楽しんでもらう。カーネーションには一輪咲きのスタンダードタイプと房咲きのスプレータイプ、ミニティアラなど、いろいろな種類があることを覚えてもらう。
- ・収穫本数は8本程度とする。



○花束作り 30分

⑥集荷場に花を持ち帰り、鮮度保持材の入っている液につけておく。

その際、自分の収穫した花は茎を輪ゴムでとめておく。

⑦机の上にある花束作りの材料の確認とハサミの使用方法について説明する。

・それぞれの場所に用意した、アルミホイル、吸水したペーパータオル、輪ゴムを確認。

・ハサミの刃先を他人に向けないように注意する。

ふざけたりすると怪我をする場合があることを説明する。

⑧花の切り方の説明

花束が出来上がった姿を想像して花の位置を確認し茎の切る位置決めをしてから茎の下を切り詰める。その際、花の頭がスリーブの少し下に収まるようにし、茎の下先端はスリーブより少し長くする。スリーブを花の下において位置決めするとよい。茎が短くなった場合はスリーブの下を切り詰めて調整する。スタンダードタイプを中央のやや下のほう、スプレータイプをやや上のほうに配置するとバランスがよい。



⑨花束の作り方の説明

輪ゴムをかけて花束を作ったのちに、根元をアルミ箔でくるむ。

アルミ箔の上に濡れたペーパータオルをおき、その中央の中ほどに根元を置いて、アルミ箔を折りあげて、くるくる巻きつける。

花束のアルミホイルの部分を持ってスリーブの上開口部から花束をいれる。



⑩アレンジを開始

⑧⑨に気をつけて自由に花束を作る。

アレンジに対して注意はできるだけ控えて暖かく見守る。スタッフで見回り、困っている子供達にはアドバイスする。

⑪片づけ

机の上や床のゴミを片付ける。ゴミは茎を短く切って捨てるよう指導する。

○メッセージカード作り 10分

6年生を対象にしている場合は、卒業もまじかに控えているので、ご家族への感謝の気持ちを込めてメッセージを書いてもらう。

メッセージカードはどのようなものでもよいが、香川県のオリジナル品種であるミニティアラの手作りミニ絵本を作成し、その最後にメッセージを書くようにした。



○花の今後の管理と、カーネーションにまつわる説明

花をプレゼントした後は、家の花瓶や花瓶がない場合はペットボトルや牛乳パックで花瓶を作って、花をいける。その際、茎はもう一度ハサミで1センチ程度きり戻して、水揚げをよくすることの説明をする。

また、カーネーションには花の色ごとに花言葉があること、それぞれの誕生日に誕生花があることを説明し、花に愛着を持ってもらう。

○花生産者への質問コーナー 20分

温室内を観察して疑問に思ったことを、生産者に答えてもらう。

質問例

- ・カーネーションは何種類くらいありますか？
- ・温室の中にマス目の網がありました何ですか？
- ・なぜ、うねの上に銀色のシートをはっているのですか？



○終了の挨拶

【第2部】 卒業生に贈るカーネーションのコサージュ作り

①机の上にある花束作りの材料の確認とハサミの使用方法について説明する。

- ・それぞれの場所にアルミホイル、吸水したペーパータオル、輪ゴムを用意しておいたものの確認。
- ・ハサミの刃先を他人に向けないように注意する。隣の人とふざけたりすると怪我をする場合があることを説明する。

②花の切り方の説明

コサージュにはスプレータイプのカーネーション・香川県オリジナル品種であるミニティアラを使用するので、1本を枝振りを見ながら2本に分けます。その際、花のつき方に注意し、1本がそれぞれ15cm程度になるように切り分けます。

3本のカーネーションを切り分けて全体で5~6本になるようにする。



③コサージュの作り方の説明

カーネーションの花を上下にずらして配置し、その間にブプレウラムやリキュウソウなど季節の緑の葉ものをいれます。

バランスがよくなったら、茎の下を輪ゴムでとめる。

④アレンジを開始

最初に自分の好きなカーネーション3本を選ぶ。

カーネーションを切り分けるのはむずかしいので、スタッフが見回りアドバイスする。アレンジに対して注意はできるだけ控え、暖かく見守る。



⑤根元をアルミ箔でくるむ。

アルミ箔の上に濡れたペーパータオルをおき、その中央の中ほどに根元を置いて、アルミ箔を折りあげて、くるくる巻きつける。



⑥片付け

机の上や床のゴミを片付ける。ゴミは茎を短く切って捨てるよう指導する。

⑦作品の鑑賞

完成したコサージュを各自の制服のポケットにいれて、みんなの作品を鑑賞する。

⑧生産者から、使用したカーネーションの説明を受ける。



⑨コサージュを回収し保管

コサージュは卒業式で使用するので、ダンボールに並べて保管し、花や葉に水を霧吹きする。ダンボールのコサージュの上にはペーパータオル等を敷き、乾燥を防ぐ。学校で保管する場合は廊下など涼しいところで保管すると2~3日もつ。

※コサージュは、制服のポケットに差し込む形にした。また、コサージュの基部を濡れペーパータオルでくるんでいるのは、花を長持ちさせるためで、持ち帰った後も、家庭で長く楽しんでほしいという、生産者の意向を取り入れたものである。



さめきの咲っちゃん通信

vol.4



特集：カーネーション

みんなは、カーネーションを知っている？ 実はカーネーションにはいろんなひみつがあるんだよ。今日はそんなカーネーションのひみつをみんなに教えるね！

カーネーションって、どんな花？

カーネーションのふるさはヨーロッパの地中海。大昔から栽培されていて、ヨーロッパでは聖母（せいぼ）マリアの流した涙（なみだ）ともいわれてるんだ。日本に昔からあるなでしこやせきちくもカーネーションのなかまだよ。



カーネーションのなかま、セキチク

こんなに作ってるんだ！香川のカーネーション！

香川県でカーネーションが栽培されるようになったのは、昭和6年（1931年）。香川町で初めて栽培されたんだ。今香川県では、1年間で約1千万本のカーネーションが栽培されているんだよ。



母の日にカーネーションをおくるのはなぜ？

母の日は、今から100年前の1907年、アメリカのアンナ・ジャービスという人が、亡くなったお母さんをしのんで教会に白いカーネーションをおくったのがはじまりなんだ。今では、お母さんに赤いカーネーションをプレゼントするのがならわしになっているよね。



カーネーションは、どのくらい種類があるの？

カーネーションには、1本の茎にたくさんの花がつくスプレータイプと、1本の茎に1個だけ花が咲くスタンダードタイプがあります。それぞれのタイプにたくさんの色の花があり、あわせると1000種類以上のカーネーションが、日本全国で栽培されています。



スタンダードタイプ



スプレータイプ

カーネーションはどんな色があるの？

日本で一番たくさん売られている色は、スタンダードタイプでは赤、スプレータイプではピンクです。他にもオレンジ、黄色、緑、白、紫など様々な色があります。変わった色では、茶色（ベージュ）や、1つの花で2色の花もあります。



新しいカーネーション「ミニティアラ」

香川県では、これまでにないような、新しいタイプのカーネーションの生産が始まっています。名前は「ミニティアラ」。妖精の冠のようなかわいいたカーネーションです。



まるで冠のような形の「ミニティアラピンク」。カーネーションに見えますか？



さめきの咲ちゃん通信 vol.4
 編集・発行 花の里かがわ推進委員会
 (〒760-8570 香川県高松市番町 4-1-10
 香川県農政水産部農業生産流通課内)
 TEL 087-832-3422 FAX 087-837-2481
 発行日 平成22年1月11日